#### 保健体育科学習指導案

竹原市立竹原中学校 指導者 澤田 良子

- 1 日 時 平成16年12月20日(月)2校時
- 2 場 所 3年D組 教室
- 3 学年・組 3年D組(男子18 名,女子17 名 計35名)
- 4 単元名 「感染症の予防」
- 5 单元設定理由

#### 教材観

教育課程審議会は、「健康に関する現代的課題への対応」の中で、「感染症の新たな課題等の現代的課題が、近年、深刻化している。」と述べている。中学校学習指導要領解説 保健体育編では、「エイズ及び性感染症の増加傾向とその低年齢化が社会問題となっていることから、その疾病概念、感染経路、予防法を身に付ける必要があることを理解できるようにする」と述べられている。特に、厚生労働省エイズ動向研究班の発表では、20代前半のエイズ発病者の多くは、10代中頃にHIVに感染しており、エイズ問題がより若年化・深刻化していることがわかる。また、性感染症(STD)についても増加の一途をたどっており、エイズと合わせてSTDへの早期予防教育が必要である。

この教材は,感染症の発生要因について理解し,予防に向けての実践力の習得を目指した教材であり,中学生にとって非常に重要かつ時宣を得た教材と考える。

## 生徒観

本学年は,生徒一人一人は明るくて,個性も非常に強く,主体的に物事を考え積極的に行動している。感染症の知識については,インフルエンザや流行性耳下腺炎など身近な感染症についてはある程度理解している。しかし,性行為,男女の「性」についての興味はあるが,エイズや性感染症について,正確な知識は身に付けておらず,「エイズは自分の日常からは,遠い病気である」と感じている生徒が多くいる。

#### 指導観

指導にあたっては、性感染症の予防はただ単に性行為抑制の指導のみにとどまるのではなく、「性」は「生」という生き方につながる大切なものであることを考えさせたい。またエイズについては、感染症の問題だけではなく正しい知識を身に付けなければ、予断と偏見を持つことになり、人権問題にもかかわることであることもおさえたい。そして、ともに生きていく明るい社会をつくうとする意欲と実践力へつなげたい。

#### 6 単元の目標

感染症は病原体が主な要因となって発生し、「発生源をなくす」、「感染経路を遮断する」、「主体の抵抗力を高める」ことで予防できることを理解させる。

個人と集団の健康は密接な関連があり、相互に影響しあうこと、また、健康を保持増進する ためには保健・医療機関を有効に利用することが大切であることを理解させる。

# 7 単元の評価規準

#### 健康・安全への 健康・安全についての 健康・安全についての 関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 健康の保持増進のために必要 健康の保持増進のために必要 健康の保持増進にかかわる生 な ,生活行動や病気の予防につい な ,生活行動や病気の予防につい | 活習慣や喫煙 ,飲酒 ,薬物乱用の て,自分の日常生活を振り返りな て,自分の知識や日常生活等を振 影響,及び感染症などについて, 科学的に理解し,日常生活の課題 がら,課題を見つけようとした り返り,課題を見つけたり文献の り、その解決方法を調べようとし | 収集や資料分析などを通して、そ | 解決に役立つ知識を身につけて の解決の方法を選ぶことができしいる。 ている。

## 【学習活動における具体の評価規準】

ア 健康・安全への	イ 健康・安全についての	ウ 健康・安全についての
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
エイズ及び性感染症について	エイズ及び性感染症について,	エイズ及び性感染症の要因と
資料を見たり ,自分の日常生活	自分の知識や日常生活等を振	その予防方法について ,正しく
を振り返りながら ,課題を見つ	り返り , 問題点を見つけるこ	理解している。
けようとしている。	とができる。	エイズ及び性感染症の要因や
感染症は 病原体が環境を通じ	エイズ及び性感染症について	感染経路について説明するこ
て主体に感染することを ,教師	資料をもとに ,新興感染症や再	とができる。
や仲間とともに活動したり ,教	興感染症 ,海外から持ち込まれ	エイズ及び性感染症について,
科書などの資料を読んだりし	る感染症などが問題になって	正しい性行動の選択と人間関
て ,課題について調べようとし	いることを ,予想したり整理し	係の在り方について理解して
ている。	たりすることができる。	いる。
エイズ患者及びHIV感染者	エイズ及び性感染症について,	
は増加傾向にあり ,低年齢化し	学習したことを日常生活に当	
ていることを見つけようとし	てはめて考えることができる。	
ている。		

# 8 指導と評価の計画(全3時間)

.,	学 習 内 容	評 価				
次		関	考	知	評価規準	評価方法
	感染症における環境と				感染症は ,病原体が環境を通じて主体	授業観察
	要因				に感染することを , 教師や仲間ととも	ワークシ
					に活動したり ,教科書などの資料を読	
1					んだりして ,課題について調べようと	
					している。	

	近年の感染症の問題 感染症を予防する3原 則と免疫や抵抗力につ いて	エイズ及び性感染症について資料を もとに,新興感染症や再興感染症,海 外から持ち込まれる感染症などが問 題になっていることを,予想したり整 理したりすることができる。 エイズ及び性感染症の要因とその予防 方法について,正しく理解している。 感染症を予防する3原則と免疫や 抵抗力について説明できる。	
2	エイズ , HIV感染症の 要因と感染経路 エイズ , HIV感染症の 増加傾向と低年齢化	エイズ , H I V感染症の要因や感染経路などについて説明することができる。 エイズ患者及び H I V感染者は増加傾向にあり低年齢化していることを見つけようとしている。 エイズ及び性感染症について , 学習したことを日常生活に当てはめて考えることができる。	ワークシ ート 授業観察
3 本時	性感染症の感染経路性感染症の予防	エイズ及び性感染症について資料を見たり、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようとしている。エイズ及び性感染症について、自分の知識や日常生活等を振り返り、問題点を見つけることができる。エイズ及び性感染症の要因とその予防の方法について正しく理解している。感染症の予防には、不特定多数との性的接触を避けること、コンドームを正しく使うことなどが、有効であることを理解している。エイズ及び性感染症について、正しい性行動の選択と、人間関係の在り方について理解している。	授業観察 ワークシート

# 9 本時の展開

## (1)本時の目標

エイズ, HIV感染症及び性感染症の現状,原因,症状を知らせるとともに,その予防対策が必要なことに関心を持たせる。

エイズ及び性感染症の予防には,不特定多数との性的接触をさけること,コンドームを正しく使うことなどが有効であることを理解させる。

# (2)準備物

・教科書, ワークシート, ビデオプロジェクター, パソコン, 色彩カード, テロップ, フラッシュカード, エプロン模型

# (3)本時の指導過程

段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
中学生の男女交際につ中学生の男		中学生の男女交際と,交際の限度		
	いて考える。	について考えさせる。		
導入	・ワークシートに記入す	・日頃の生活からありのままの思いを	ア -	授業観察
	る。	発表させる。		
	性感染症とは何かを考	性感染症の意味について説明する。		授業観察
	える。	資料のグラフから近年増加傾向にあ	ア -	
	・ワークシートを見て考	ること,HIV感染者よりはるかに患		
	える。	者が多いことに気付かせる。		
	主な性感染症(STD)	主な性感染症について説明する。	イ -	ワークシ
	について理解する。	・パソコンを使って視覚的にも訴える。		
		性感染症は性的接触で感染すること		
		を理解させる。		
展開	性感染症の治療につい	性感染症の治療の現状について説明		
	て理解する。	する。		
		・パソコンを使って視覚的に訴える。		
	性感染症について自分	性感染症について抱く意識を表明さ		
	の意識を確認する。	せる。		
	・色彩カードを全員が示			
	す。			
	性感染症が広がり始め	性感染症の広がり始めた原因につい		
	た原因について考える。	て説明する。		
	・グループで話し合う。	・社会に目を向けさせることに留意す		
		<b>る</b> 。		

	エイズを含めた性感染	エイズを含めた性感染症の予防につ	ウ -	ワークシ
	症の予防について考え	いて考えることができるよう投げか		
	る。	け,意見をまとめさせる。		
	・グループで話し合い,	・感染原因から予防について考えさせ		
	発表する。	<b>ర</b> .		
	性感染症について意識	意識の変化を把握する。		
	の変化を表明する。			
	・色彩カードを全員が示			
	す。			
	まとめを行う。	性感染症やエイズについて,その知	ウ -	ワークシ
	・性行動の選択 , 人間関	識だけでなく,正しい性行動の選択,		
ま	係のあり方について考え	人間関係のあり方について考えをまと		
ک	る。	めさせる。		
め	・ワークシートに記入す			
	る。			